

令和3年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

### ①豊かな心をはぐくむ教育の推進

#### 1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。

保護者	28.7%	57.7%	10.3%	2.6%	0.6%
児童	63.4%	27.7%	5.8%	2.1%	0.0%
教職員	51.7%	48.3%	0.0%	0.0%	0.0%

#### 2 友達への思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

保護者	47.1%	49.4%	2.9%	0.3%	0.3%
児童	78.4%	17.5%	3.1%	0.3%	0.7%
教職員	20.7%	79.3%	0.0%	0.0%	0.0%

#### 3 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

保護者	26.1%	61.9%	8.1%	2.6%	1.3%
児童	34.5%	62.1%	3.4%	0.0%	0.0%

「1人1人の児童生徒の尊重」では、保護者の割合には大きな変化はないが、「4そう思う」の割合が児童は約13%、教職員は約22%上昇した。個に応じた関わりや指導を行ってきた成果である。保護者の理解が進んでいないこと、大切にされていないと感じている児童がいることを重く受け止め取り組みや対応の見直しを行っていきたい。「友達への思いやり」では保護者及び児童のいずれも95%以上が肯定的に評価しているものの、昨年度からするとやや割合が減っている。コロナ禍でどう安全に子供同士を関わらせるいくかを教師がしっかりと考えながら、よりよい友達との関係づくりにより一層取り組んでいきたい。「道徳、心の教育の充実」では「4そう思う」の割合が教師は約15%増えているのに対し、保護者は約7%減っている。授業参観や学校行事が縮小・削減され、子供の姿や心の成長を保護者と共有する場が減っている。こうした状況を踏まえ、道徳教育の充実を図っていくと共に児童の成長や道徳教育の取り組みを保護者地域に発信していくよう努めたい。

### ②確かな学力を育む教育の推進

#### 4 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

保護者	31.9%	56.5%	9.7%	1.3%	0.6%
児童	59.2%	32.5%	5.5%	2.1%	0.7%
教職員	20.7%	69.0%	10.3%	0.0%	0.0%

#### 5 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。

保護者	42.6%	49.4%	4.2%	2.9%	1.0%
児童	59.9%	31.8%	5.8%	1.7%	0.7%
教職員	44.8%	55.2%	0.0%	0.0%	0.0%

#### 6 ICT活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

保護者	49.7%	41.0%	6.5%	2.3%	0.6%
児童	54.1%	36.3%	7.5%	1.4%	0.7%
教職員	44.8%	51.7%	3.4%	0.0%	0.0%

「意欲的な学習態度」については、教職員・保護者の「4」の割合が減少しているのに対し、児童は13%上昇している。ICTを使った学習の工夫が子供たちの意欲を高めているのではないかと考える。しかし、主体的に取り組むこと、粘り強く取り組むことにおいて十分でないと感じている。「授業力向上」では、保護者、児童、教職員ともに「4そう思う」が上昇している。今後は児童の美態や授業・学習における課題を明らかにし、学習指導の改善やカリキュラムマネジメント等について研究・研修を深めていきたい。「ICT活用」では保護者、児童、教職員すべてで「4」「3」が9割を超えているためタブレットの活用が学校全体でできてきているといえる。残り1割が感じていることを把握ししっかりと対応していくことでさらに効果的に活用につながっていくと考える。また、情報モラル教育や教職員の研修、家庭への啓発を充実させていきたい。

### ③健やかな体を育む教育の推進

#### 7 健康づくり

子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

保護者	32.6%	51.9%	13.9%	1.0%	0.6%
児童	45.9%	34.2%	16.8%	2.4%	0.7%
教職員	3.4%	58.6%	34.5%	0.0%	3.4%

昨年度同様保護者・児童、教職員間で意識の差がある。各家庭の生活背景により生活リズムや健康に対する意識の相違が考えられるが、「1」と回答した保護者・児童がいることを真摯に受け止めた。健康教育部中心とした健康教育を推進し、家庭・地域・関係機関とともに規則正しい生活の習慣化を目指し、通信や学校保健委員会を通してさらに啓発していく必要がある。

### ④いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

#### 8 児童生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとして努めていると思いますか。

保護者	37.4%	50.0%	8.1%	3.5%	1.0%
児童	55.1%	35.3%	5.8%	3.1%	0.7%
教職員	34.5%	65.5%	0.0%	0.0%	0.0%

昨年度に比べ、児童・保護者ともに「1」「2」と答えた割合が高くなっているが、「4」「3」を合わせた割合は減っている。まずアンケートやスマイルタイム、日常の一人ひとりへの関わりを大切にしていかなければならない。

### ④いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

#### 9 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

保護者	22.9%	56.8%	12.3%	4.5%	3.5%
児童	71.9%	22.6%	3.4%	1.4%	0.7%
教職員	55.2%	44.8%	0.0%	0.0%	0.0%

子供たちは、いじめ問題に教師がすぐに対応してくれていると感じている割合が高い。小さなトラブルにも教師が子供の話をよく聞いて対応している成果であると考えられる。しかし、保護者の「1」「2」の割合が2割を占めている。いじめ等の対応では対応中、対応後の様子を保護者に細目に伝えることで保護者の不安を軽くしていくような関係構築をしていきたい。

### ⑤特別支援教育の推進

#### 10 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

保護者	25.9%	61.8%	5.8%	1.9%	4.5%
児童	37.9%	62.1%	0.0%	0.0%	0.0%

学校支援体制については、多くの保護者、教職員が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と感じている。学校の取り組みが保護者に伝わっていると感じた。昨年度は学級支援員の他に「学習指導員」が4人おり、授業中の個別の支援が充実していた。昨年度に比べ、教職員の「そう思う」が低下しているのは、支援を必要とする児童への十分な支援が行えていないと感じているからであると考えられる。共生を担う人材の育成は、児童に比べると保護者の評価が低い。今後は啓発授業や交流授業を充実させ、保護者・地域への理解を深めていく必要があると感じている。

### ⑤特別支援教育の推進

#### 11 共生社会を担う人材の育成

「交流及び共同学習」等の実施は、相互理解の促進につながっていると思いますか。

保護者	25.5%	61.9%	5.5%	1.3%	5.8%
児童	58.2%	30.8%	4.5%	5.5%	1.0%
教職員	34.5%	65.5%	0.0%	0.0%	0.0%

### ①子どもたちの身近な安全対策の充実

#### 12 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

保護者	30.6%	56.5%	7.4%	2.9%	2.6%
児童	71.9%	21.9%	3.8%	1.7%	0.7%
教職員	34.5%	58.6%	6.9%	0.0%	0.0%

「安全教育に取り組んでいると思いますか」の質問に「4」と答えた児童が1割近く向上した。朝会等での共通理解のもとでの指導では遅れが出ることがあるが、担当のほうで迅速に対応しタブレット端末を使った（危険箇所を確認→全職員共有→一斉指導）が可能になったことで、児童の意識の変化につながったと考える。今後の指導にも生かしていきたい。

### ②最適な学習環境の整備

#### 13 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

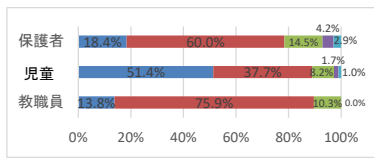
保護者	19.4%	60.0%	13.5%	4.2%	2.9%
児童	51.7%	36.6%	8.6%	2.1%	1.0%
教職員	20.7%	69.0%	10.3%	0.0%	0.0%

昨年度と比べ、「4」「3」の割合が上っている。毎月、安全点検をしっかりと行い修繕や改修を行うことで安全な校舎・体育館を維持している。老朽化が進んでいるため、安全点検によるより一層の早期発見・早期対応に努め、けがや事故の未然防止に取り組んでいきたい。

### ③家庭・地域社会との連携強化

#### 14 教育方針・目標の理解

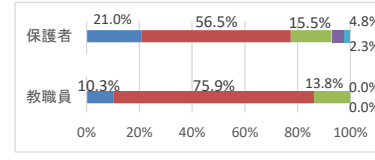
学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



「教育方針・目標の理解」については、児童の「4 そう思う」が8%上昇していた。目標やめあてを理解して学校生活を送っている児童が増えている。教職員、保護者がやや減少しているのは「家庭や地域との連携」の結果に出ているように、コロナ禍の中で、学校の取組や願いを発信する場、交流する場が減っていることが考えられる。コロナ禍でも家庭・地域と学校がよりよく連携していく方策を考えていきたい。

#### 15 家庭や地域との連携協力

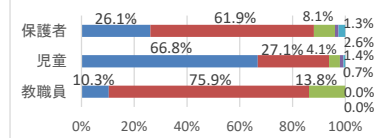
学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



### 本校の教育

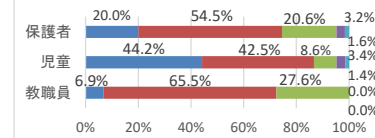
#### 16 互いの良さを認め、ともに高まりあう仲間づくりの推進

子どもは、友だちと仲良く過ごし、ほめたり励まし合ったりするような行動ができていますか。



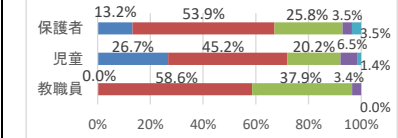
#### 17 「自ら学ぶ」に向かう力を育む授業の推進

子どもは、学習に意欲的に取り組み、答えにたどり着くまで粘り強く取り組んでいると思いますか。



#### 18 地域を教材にした授業の創造

子どもは、地域のことを知り、地域の良さや課題について考え、それをまとめたり伝えたりすることができていますか。



①豊かな心を育む教育の推進における「あなたは、友だちとなかよくしていますか。」の問いでは「4 そう思う」と回答する児童が8割近くいるのに対し、本校の教育における「互いのよさを認めともに高まりあう仲間づくりの推進」の「あなたは、友だちとなかよく過ごし、ほめたり、励ましあったりすることができていますか。」の問いには「4」と回答する児童の割合が6割強と減少する。共に高まりあうような関係づくりができる子供をどう育てていくかを話し合い進めていきたい。「自ら学ぶ」に向かう力を育む授業の推進」では、「意欲的な学習態度」の結果からもわかるよう本校の児童は意欲は持っているが、「答えにたどり着くまで粘り強く取り組むこと」に課題があると考えられる。そうした児童の実態をふまえ「地域を教材にした授業の創造」では、地域教材の掘り起こしを進め、児童が「なぜ?」「どうしたら…」と考えるような探究的な学習を推進していきたいと考える。

### 来年度の具体的な取り組みについて

- 月々の生活目標と共に学校教育目標については「学校だより」やホームページ等を利用して、学校が大切にしている部分を随時情報発信していく。
- 学習指導に関しては、コロナ禍の中でも子どもの意欲を高め、すべての子どもたちが学びに参加する授業づくりや、地域素材を活用した総合的な学習の時間、探究的な学習を推進していくためのタブレット端末活用工夫等の研修、研究を進めていく。
- ICTの活用を行っていくと同時に、情報モラル教育をより推進していくとともに、人権教育、道徳教育等でも「人を大切にする心」をしっかりと学んでいくよう諸計画を作成し実行する。さらに、学習したことを保護者にもしっかりと発信したり、親子道徳で取り組んでもらったりして、家庭と連携しSNSを使いたいじめやインターネットによる犯罪等から子供を守る体制づくりを行う。
- 高学年では一部教科担任制（交換授業）を取り入れ、授業の質を向上させるとともに、複数の教師による児童理解に務める。
- 互いを認め共に高まりあう仲間づくりの推進では、特別活動を充実させ、自分たちのことを自分たちで決定する力を伸ばし育てていくことに取り組んでいく。また、友達との関わり方について道徳や人権教育の中でしっかりと考える機会をもち、共に高まりあうような関係づくりができる子供の育成を目指す。
- 「地域を教材にした授業の創造」では、地域教材や人材を掘り起こし、総合的な学習の時間の見直しを行う。教科学習と総合的な学習や学校行事をカリキュラムマネジメントし計画立案する。研究部長や総合担当・情報担当を中心に「どのように進めたら探究的な学びになるか、生きた学びになるか」について研修・研究を進めていく。

### 学校関係者評価

- 授業では1年生から6年生までタブレット端末を使った学習が取り入れられ、児童がタブレット端末を上手に操作している姿に感心した。学年に応じた段階的な指導が行われていることがわかった。
- 6年生が地域への貢献活動として公園の清掃に取り組んでくれたことに感謝する。今後は、学校と地域が協力して学校をきれいにする活動をしていけたらと思う。
- 児童や保護者の心の拠り所として、校内にカウンセリングルームや心のサポート相談室が設置され活用されている。
- 総合学習で、白川を学習する際は白川わくわくランドを活用してはどうか。また、龍田の自然は立山で学べるし、龍田には古くから行われている地域行事もたくさんある。子供たちに龍田地域のことを知ってほしい。
- コロナウイルス感染拡大により、学校・保護者・地域が共に活動する行事やイベントが減ってしまった。感染状況もあるが、保護者が学校での子供の様子を見ることができる機会を増やせないだろうか。また、地域団体の参加人数を2分の1、3分の1にしてもいいので、学校と地域が関わる行事を再開していくよう進めてほしい。
- 校舎内（特に廊下）が暗いように感じる。予算の都合もあるだろうが床の黒ずみ等を業者による清掃で取ることで明るくできるのではないかと。また、トイレは年に2回程度、業者を入れた清掃を行うことができないか。コロナ禍で教師がトイレ掃除を行っているとのことであるが、感染の状況をみて、少しずつ、自分たちが日々使用するトイレの掃除を、自分たちですべてできるようにしてほしい。